



海流の変化と漁獲量

- マイワシが減少したのは海流の変化。
- 北太平洋に位置するアリューシャン低気圧の勢力の衰えが関係。
- ア低気圧が弱まると冬場に吹く北風の勢いが衰え、寒流の親潮が南下しにくくなる。
- その結果、暖流の黒潮が北上して海水の温度が上昇。餌のプランクトンが少なくなり、マイワシのえさ場が縮小。
- なぜ、ア低気圧の勢力が衰えているのか。
- 地球温暖化で北極付近から周囲に吹き出す空気の循環が強まる。その結果、北太平洋で下降気流が発生して気圧が上がり、ア低気圧が弱まる。



マラリア蚊・温暖化で来襲

- 国立環境研究所・国際保健研究室の小野雅司室長：地球温暖化で西日本がマラリアを媒介する蚊の生息地になっても不思議ではない。
- マラリア原虫を媒介しているのは、ハマダラカ属の蚊。91か国に分布。毎年3-5億人が感染。150-270万人が死亡。
- 日本でマラリアを媒介するのはコガタハマダラカ。この蚊の生息域は沖縄県宮古島だが、年平均気温が摂氏3度上昇すると、西日本一帯も生息可能地域になる。
- IPCCは、2080年には感染リスクにさらされる人口が2億6千万から3億2千万人になると推定している。